科目名	コーチング実習A							年度	2025
英語科目名	Coaching practice A							学期	後期
学科・学年	スポーツ健康学科三年制 テニスコース 1年次	必/選	選※	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	鷲田、柳田	教員の実務経験		有	実務経験の職種 日本テニス協会 ポーツ協会公司		〜公認S級エリートコーチ/日本ス 8テニスコーチ4		

【科目の目的】

日本スポーツ協会公認テニスコーチ1・2/テニス教師の取得に向けて、学内外で指導者としての指導実践経験を積み、テニス業界 人としての資質の向上を目指します。

【科目の概要】

テニススクール、学内などでコーチングの現場実習を行います。

【到達目標】

- A チーフコーチとしてレッスンを運営することができる B アシスタントコーチとしてチーフコーチの要求に答えることができる C 大きな声でハッキリと指示が出せる・復唱できる

【授業の注意点】

現場実習中は教員・スクール関係者の指示に従い、身勝手な行動は絶対に取らないようにしてください。身勝手な行動等を起こ し他人に迷惑をかけるような者は単位取得を認めません。

評価基準=ルーブリック							
ルーブリック	レベル 5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル 1		
評価	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力		
到達目標 A	チーフコーチとして レッスンを運営するこ とができる		代行でチーフコーチと してレッスンを運営す ることができる		レッスンの一部分でメ インコーチとしてレッ スンを運営することが できる		
到達目標 B	アシスタントコーチと してチーフコーチの要 求に答えることができ る		アシスタントコーチと してチーフコーチの要 求にある程度答えるこ とができる		アシスタントコーチと してチーフコーチの要 求に答えることがあま り上手くいかない		
到達目標 C	大きな声でハッキリと 指示が出せる・復唱で きる		ある程度大きな声で指 示が出せる・復唱でき る		大きな声でハッキリと 指示・復唱があまり上 手くいかない		

【教科書】

テニス指導教本1・2

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

試験と課題を総合的に評価します。積極的な授業参加度、授業態度によって評価します。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名			コーチング実習A)25	
英語表記		Coaching practice A					期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル		評価方法	自己評価	
			1 実習参加の規定 コーチング実習Aについて理解している					
1 オリエンテーショ	指導現場実習への参加 について	2 実習参加の意味 自身で実習参加の目的を理解している			3			
	~	الد عالا ال	3 目標設定 短・中・長期目標を立てられる					
2.	2 レッスン①	コーチングスキルの向	-チングスキルの向 1 実践 試合参加を通じてスキルアップができた			3		
J		上	2 フィードバック	スクール担当者からのフィードバックで自身の到達点 きた		<u></u>		
3	3 レッスン②	コーチングスキルの向 上	1 実践					
			2 フィードバック	スクール担当者からのフィードバックで目身の到達点 きた	ール担当者からのフィードバックで自身の到達点が理解で			
		コーチングスキルの向 上	1 実践 試合参加を通じてスキルアップができた					
4 レッスン③	レッスン③		2 フィードバック スクール担当者からのフィードバックで自身の到達点が理解できた			3		
		3 PDCAサイクルの修正	教員からのフィードバックと現場実習から自身の到達点が理	場実習から自身の到達点が理解できる				
г	L w 7 \ (A)	コーチングスキルの向	スキルの向 1 実践 試合参加を通じてスキルアップができた			3		
5 レッスン④	L T	2 フィードバック	スクール担当者からのフィードバックで自身の到達点 きた	ードバックで自身の到達点が理解で				
6	6 レッスン⑤	コーチングスキルの向 上				3		
O			2 フィードバック	スクール担当者からのフィードバックで自身の到達点が理解できた				
-		コーチングスキルの向 <u></u> 上	1 実践 試合参加を通じてスキルアップができた					
7 レッスン⑥	レッスン(6)						3	
			3 PDCAサイクルの修正 教員からのフィードバックと現場実習から自身の到達点が理解で					
0	1, ,, 7 \ (7)	コーチングスキルの向	1 実践 試合参加を通じてスキルアップができた コーチングスキルの向			9		
8	レッスン⑦	上 2 フィードバック スクール担当者からのフィードバックで自身の到達点が理		!できた	3			
			3 PDCAサイクルの修正 教員からのフィードバックと現場実習から自身の到達点が理解でき					
9	レッスン⑧	コーチングスキルの向 _上				3		
			2 フィードバック スクール担当者からのフィードバックで自身の到達点が理角きた				1	
10	レッスン⑨	ン⑨ コーチングスキルの向上				3		
			2 フィードバック	スクール担当者からのフィードバックで自身の到達点 きた	が理解で	<u> </u>	<u> </u>	
		コーチングスキルの向 上			試合参加を通じてスキルアップができた			
11 レッスン⑩	レッスン⑩		2 フィードバック	スクール担当者からのフィードバックで自身の到達点が理解	!できた	3		
		3 PDCAサイクルの修正	正 教員からのフィードバックと現場実習から自身の到達点が理解で					
		スン⑪ コーチングスキルの向 上	1 実践	試合参加を通じてスキルアップができた		3		
12 レッスン⑪	レッスン⑪		2 フィードバック	スクール担当者からのフィードバックで自身の到達点が理解	できた			
			3 PDCAサイクルの修正 教員からのフィードバックと現場実習から自身の到達点が理					
10	7.0	② コーチングスキルの向 上	コーチングスキルの向	1 実践	試合参加を通じてスキルアップができた		0	
13	レッスン⑫		2 フィードバック	スクール担当者からのフィードバックで自身の到達点 きた	が理解で	3		
14 レッスン⑬	<u></u>	ン ^③ コーチングスキルの向 <u></u> 上	1 実践	試合参加を通じてスキルアップができた		3		
	- / / \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		2 フィードバック スクール担当者からのフィードバックで自身の到達点が きた					
15	振返り	三字 () () () () () () () () () (1 フィードバック	自身の活動を振返り今後に活かすべき点を理解してい	る	3		
10	<i>111,11,11,11,11,11,11,11,11,11,11,11,11</i>		2 新たな目標設定	新たな短・中・長期目標を立てられる				
評価	方法:1.小テスト、	2. パフォーマンス評価、	3. その他	+				

自己評価:S:とてもよくできた、A:よくできた、B:できた、C:少しできなかった、D:まったくできなかった